

科学的特性マップに関する対話型全国説明会（NUMO） 参加報告

2019年3月9日

グリーンコープ生協ふくおか 組合員

1、高レベル放射性廃棄物を地下300m以深に地層処分する説明

- ・高レベル放射性廃棄物は放射能レベルが高い1000年間は人間から隔離する必要がある
- ・それを人間が管理するのは無理なので地層処分し自然環境にその管理を任せる

使用済み核燃料がプールに溜まっているが、それは別管理

2、グループからの質問

Q、ガラス固化は上手くいっていないはず。地層処分場がまだ決まっていない状態、このままだとガラス固化している取っ手が劣化して取り出しも出来なくなる。海外からガラス固化して戻ってきているのは液状化しているとも聞いている。

A、NUMOはそれらのことは承知していない

Q、あちこちで説明会をしている、今もってそんなことは分からないという返事はいかがなものか。

Q、費用はどのくらい？

A、3.8兆円。NUMOの職員給料も含む

Q、どうやって準備するのか？

A、電気代のバックエンド費用で徴収している。すでに1兆円は徴収済み

Q、それは原発が稼動しているから徴収できるのか？

A、そうだ

Q、原発がもし止まったら徴収できなくなるのか？

A、そういうことになる

Q、【同席の参加者】止まっても原発があるっていう理由で徴収するはず

A、【NUMO】微笑む

Q、説明会などして埋設地を探してしるが目処は？

A、今のところ皆無

Q、このまま手をあげてくれる自治体がなかったら、「ココ」とピンポイントであたっていくのか？

A、そうなると思う

Q、その時その市町村で説明会を決め細やかにされるのか？

A、する

Q、首長がOKだったらどんなに住民が反対しても押し切るのか？

A、民主主義の考え方に則ってすすめる。首長は選挙で選ばれた人なので最終その判断が優先されると思う

3、私が最後に伝えた意見

今も毎日出続けている核のゴミ問題を論せず、地層処理のことだけに特化した説明会はとても違和感がある、私も使ってきた原発のゴミ問題はもっと国民皆で検討すべきことだと思う、そのためにも原発の是非や、核燃料プールの核のゴミ問題（プールが満杯）など総合的に話し合うべきではないか。NUMOの皆さんもお可哀想。地層処分の問題のみしか任されていない。皆の質問にも「国の方針で」と言わなければならない。

4、感想

人間が管理できないので自然環境に任せるというのは一定理解できました
しかし、今回の説明会は「原発の是非は話題にしない」が申し合わされていた説明会でした。核のゴミにも種類があってその中の高レベル放射性廃棄物だけの話でした。意見で書いているように一部一部が切り取られてこのように原発問題を進めようとする国のあり方に、本当にこのまま国民が黙っていたら大変なことになると危機感が増しました。